

生産方式革新実施計画の概要

2025年1月15日認定

「栽培管理システム」+「データを産地内で共有し、次期の栽培に活用」

＜取組概要＞

水稻の栽培において、栽培管理システムから得られたデータ（地力・収量等）をアカウント連携者（産地内農業者）とシステムサービス事業者に共有し、生育状況等のデータ分析を行う。

データ分析用の栽培データを集めやすくするため、GPSレベラー等を使用し、区画拡大に取り組んでいく。

＜生産方式革新事業活動のイメージ 等＞

＜申請者＞

株式会社山正__山形県天童市

＜対象品目＞

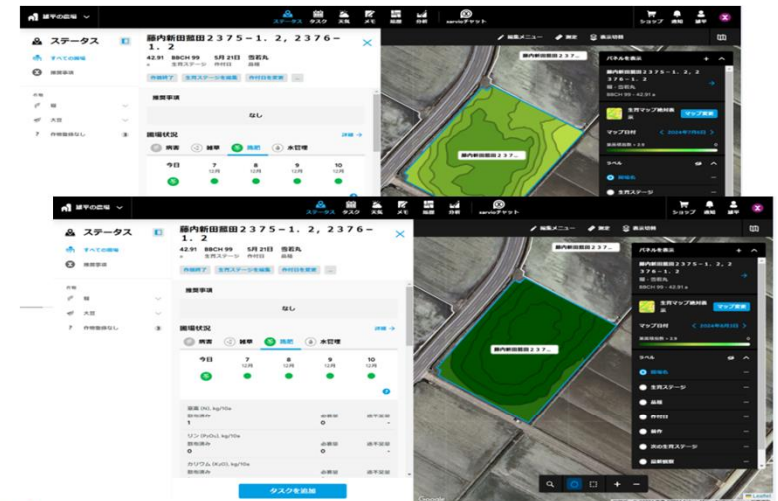
水稻

＜計画の実施期間＞

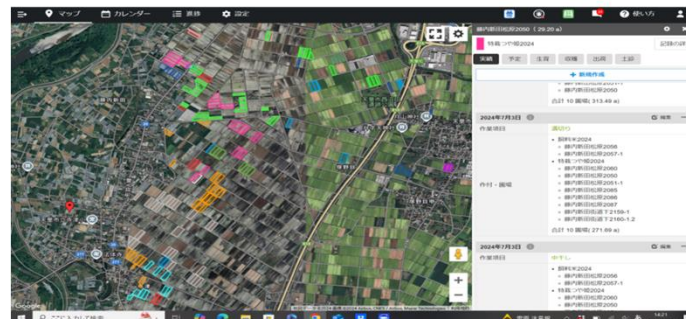
5年間



株式会社山正の瀬野代表



ザルビオ(xarvio)フィールドマネージャーを可変施肥等で活用



アグリノートを用いて営農情報を管理